

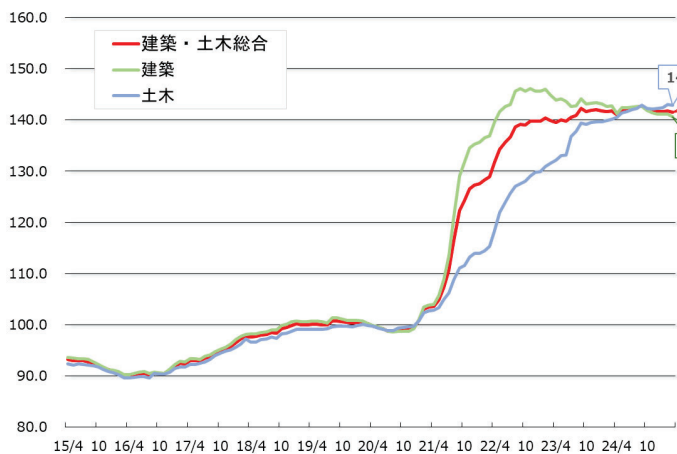
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年3月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	141.5	-0.3	-0.3
建築	140.6	-0.5	-2.2
土木	142.9	-0.1	+2.7

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート二次製品：+6.3新潟、+0.4大阪 ●骨材：+16.2広島 ●瀝青材：+3.0那覇 ●仮設材：+10.5那覇、+8.6名古屋・高松、+8.4東京、+7.7新潟、+7.6広島・福岡、+7.4仙台、+6.3大阪、+4.7札幌 	<ul style="list-style-type: none"> ●普通鋼鋼材：-1.1広島・福岡、-1.0那覇、-0.9大阪、-0.8新潟、-0.7高松、-0.6仙台、-0.5名古屋、-0.4東京、-0.3札幌 ●その他の鋼材：-6.5福岡、-6.4東京、-6.3仙台、-6.1大阪、-5.8札幌・新潟・高松、-5.7名古屋、-5.5広島、-0.1那覇
建築	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート二次製品：+12.3新潟、+0.6大阪 ●骨材：+16.4広島 ●仮設材：+16.7那覇、+15.6新潟、+15.0高松、+14.3名古屋、+13.9仙台、+13.7広島、+12.3福岡、+11.8東京、+9.7大阪、+9.5札幌 	<ul style="list-style-type: none"> ●普通鋼鋼材：-1.4福岡、-1.3広島、-0.9大阪・高松、-0.8新潟、-0.7仙台・名古屋、-0.5東京、-0.3札幌、-0.1那覇 ●その他の鋼材：-6.5福岡、-6.4東京、-6.3仙台、-6.1大阪、-5.8札幌・新潟・高松、-5.7名古屋、-5.5広島、-0.1那覇
土木	<ul style="list-style-type: none"> ●コンクリート二次製品：+0.3新潟 ●骨材：+15.8広島 ●瀝青材：+8.0那覇 	<ul style="list-style-type: none"> ●普通鋼鋼材：-2.4那覇、-0.9大阪、-0.8新潟、-0.7広島、-0.6高松・福岡、-0.4仙台・東京、-0.3札幌、-0.2名古屋

指数集計対象資材の市況

3月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.3ポイント下落の141.5となった。指数を建築・土木別で見ると、建築は前月比0.5ポイントの下落、土木は同0.1ポイントの下落といずれもマイナスだが、下落幅は小さく、建設資材市況は概ね横ばい基調となっていることがうかがえる。資材別では鋼材の市況が弱含んでおり、これが指数を下押しする要因となっている。とりわけ建築指数は鋼材のウェイトが高いことから、土木指数と比較し下落幅が大きい。昨年9月調査で土木指数が建築指数を上回って以降、軟調な鋼材市況を背景に両指数の差は広がりつつある。瀝青材など土木指数の動きに影響が大きい資材は堅調に推移していることから、今後も建築・土木両指数の差は、ゆるやかながら拡大する傾向が続くと見られる。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212